

特別企画： 岡山県 メーンバンク実態調査（2023 年）

トップの中国銀行、シェア 46.54%

～上位 20 位中、9 の金融機関がシェアを拡大～

はじめに

企業の資金繰り支援を主体に地域経済にとって大きな役割を担う金融機関。経済活動へ多大な悪影響を及ぼしたコロナ禍を経て、物価高や円安が続く状況のなか、事業継続に向けて幅広く資金繰りをサポートし、その存在意義はさらに強まっている。一方で、少子高齢化の進行による生産年齢人口の減少とともに、都市部への人口流出・集中などで地方の資金需要の先細りが懸念され、金融機関を取り巻く経営環境は厳しい状況が続き、経営統合や合併の動きも加速している。

地域金融機関では収益改善につながるビジネスモデルの構築、地域経済の発展に寄与するサービスの開発・導入を積極的に進めているが、岡山県に拠点を置く金融機関の地元企業に対するシェアや取り組みの状況にどのような変化があるのだろうか。

帝国データバンク岡山支店で、2023 年 10 月末時点の企業概要データベース「COSMOS2」（全国約 147 万社）の中から岡山県内の企業（2 万 3711 社）を抽出し、メーンバンクと認識している金融機関について集計・分析した（％は小数点第 3 位以下を四捨五入、前年調査の対象企業数は 2 万 3843 社）。なお、この調査は今回で 14 回目、調査対象は全業種・全法人（個人経営を含む）。

※ 本調査は「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメーンとして取引している実数とは異なる。また、一企業に複数のメーンがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関のみを集計した。

調査結果（要旨）

1. トップは「中国銀行」でシェア 46.54%（企業数 1 万 1034 社）。2 位は「トマト銀行」で 11.43%（2710 社）、3 位は「おかやま信用金庫」で 10.47%（2482 社）、この 3 つの金融機関で全体の 68.43%を占める。上位 20 位中、9 の金融機関がシェア拡大
2. 業種別では、「中国銀行」「トマト銀行」「おかやま信用金庫」が主要 7 業種で 1 位～3 位を占める。県外の金融機関では、「広島銀行」「百十四銀行」が主要 7 業種すべてでランクイン
3. 取引先の売上規模別では、『10 億円未満』までは「中国銀行」「トマト銀行」「おかやま信用金庫」が 1 位～3 位を占める。『10 億円～50 億円未満』では「広島銀行」が 3 位、『50 億円以上』では「広島銀行」「三菱UFJ 銀行」が 2 位と、県外地銀、メガバンクが上位に

1. ランキング：中国銀行が46.54%でトップ、上位20位に変動なし

岡山県内の企業がメーンバンクとして認識しているシェア上位20位は表1の通り。

1位は「中国銀行」（本店・岡山市）で、シェア46.54%（企業数1万1034社）を占めた。2位は「トマト銀行」（本店・岡山市）の11.43%（2710社）、3位は「おかやま信用金庫」（本店・岡山市）の10.47%（2482社）だった。この上位3つの金融機関のシェア合計は68.43%となり、地元岡山県に圧倒的な店舗網と取引先数を持つトップ3の金融機関をメーンバンクとする企業が3分の2以上を占めた。

県内に本店を置くその他の金融機関では、「玉島信用金庫」（4位）、「水島信用金庫」（5位）、「備前日生信用金庫」（8位）、「笠岡信用組合」（10位）が上位に入った。

県外に本店を置く金融機関では、「百十四銀行」（高松市）が6位、「広島銀行」（広島市）が7位、「香川銀行」（高松市）が9位となり、隣接県の地銀が上位に入った。

メガバンクでは、「三井住友銀行」（東京都・17位）が最も上位となったがシェアは1%未満にとどまった。

前年調査と比較すると、上位20位のランキングに変動はなかった。

上位20位のシェア増減をみると、2位の「トマト銀行」が前年比0.13pt増、10位の「笠岡信用組合」が0.09pt増、4位の「玉島信用金庫」が0.04pt増となるなど、9の金融機関がシェアを拡大した。

■表1：岡山県 シェア上位の金融機関

順位	金融機関名	本店所在地	2023年		シェア 増減(%)	2022年	
			社数	シェア		社数	シェア
1(1)	中国	岡山市	11,034	46.54%	▲ 0.07	11,113	46.61%
2(2)	トマト	岡山市	2,710	11.43%	+0.13	2,695	11.30%
3(3)	おかやま信金	岡山市	2,482	10.47%	▲ 0.03	2,502	10.49%
4(4)	玉島信金	倉敷市	827	3.49%	+0.04	823	3.45%
5(5)	水島信金	倉敷市	636	2.68%	+0.01	638	2.68%
6(6)	百十四	高松市	609	2.57%	+0.02	608	2.55%
7(7)	広島	広島市	594	2.51%	▲ 0.02	601	2.52%
8(8)	備前日生信金	備前市	537	2.26%	▲ 0.08	560	2.35%
9(9)	香川	高松市	485	2.05%	▲ 0.01	489	2.05%
10(10)	笠岡信組	笠岡市	483	2.04%	+0.09	465	1.95%
11(11)	津山信金	津山市	377	1.59%	▲ 0.02	385	1.61%
12(12)	吉備信金	総社市	305	1.29%	+0.02	303	1.27%
13(13)	山陰合同	松江市	292	1.23%	+0.00	293	1.23%
14(14)	備北信金	高梁市	266	1.12%	▲ 0.01	271	1.14%
15(15)	伊予	松山市	238	1.00%	+0.01	238	1.00%
16(16)	晴れの国岡山農協	倉敷市	215	0.91%	▲ 0.00	217	0.91%
17(17)	三井住友	東京都	170	0.72%	▲ 0.01	173	0.73%
18(18)	三菱UFJ	東京都	167	0.70%	▲ 0.02	172	0.72%
19(19)	鳥取	鳥取市	147	0.62%	+0.00	147	0.62%
20(20)	みずほ	東京都	131	0.55%	▲ 0.03	139	0.58%

※順位()は前年順位 ※シェア増減率の表記は、小数点第3位以下を参照に判定

2. 業種別： トップの中国銀行、7 業種すべてでシェア 35%を超える

主要 7 業種（『建設』『製造』『卸売』『小売』『運輸・通信』『サービス』『不動産』）別の上位 10 位は表 2 の通り。

主要 7 業種別にみると、トップの「中国銀行」が全業種で 35%以上のシェアを占めた。とりわけ、『サービス』のシェアは 52.50%（2982 社）となり、半数を超えた。また、『建設』『製造』『卸売』『運輸・通信』でも 45%を超える高い水準となった。

「トマト銀行」は 5 業種で 2 位、2 業種で 3 位となり、全 7 業種でシェアが 10%を超えた。「おかやま信用金庫」は 2 業種で 2 位、5 業種で 3 位となった。

県外の金融機関では、「広島銀行」「百十四銀行」が全業種でランクインした。また、「香川銀行」が『建設』『製造』『卸売』『サービス』『不動産』の 5 業種でランクインした。

■表 2： 主要 7 業種別 シェア上位の金融機関

建設

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	3,129	46.20%
2	おかやま信金	868	12.82%
3	トマト	823	12.15%
4	水島信金	294	4.34%
5	玉島信金	244	3.60%
6	備前日生信金	162	2.39%
7	香川	157	2.32%
8	百十四	143	2.11%
9	広島	136	2.01%
10	笠岡信組	133	1.96%
合 計		6,772	100.00%

製造

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	1,293	47.02%
2	トマト	311	11.31%
3	おかやま信金	257	9.35%
4	広島	120	4.36%
5	玉島信金	90	3.27%
	百十四	90	3.27%
7	水島信金	77	2.80%
8	備前日生信金	64	2.33%
9	山陰合同	52	1.89%
10	香川	51	1.85%
合 計		2,750	100.00%

卸売

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	1,057	46.75%
2	トマト	247	10.92%
3	おかやま信金	227	10.04%
4	広島	84	3.72%
5	百十四	78	3.45%
6	玉島信金	70	3.10%
7	香川	58	2.57%
8	笠岡信組	48	2.12%
9	水島信金	41	1.81%
10	津山信金	39	1.72%
合 計		2,261	100.00%

小売

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	1,343	41.79%
2	トマト	373	11.61%
3	おかやま信金	367	11.42%
4	玉島信金	163	5.07%
5	備前日生信金	97	3.02%
6	百十四	90	2.80%
7	笠岡信組	82	2.55%
8	広島	78	2.43%
9	備北信金	76	2.36%
10	津山信金	75	2.33%
合 計		3,214	100.00%

運輸・通信

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	422	46.12%
2	トマト	114	12.46%
3	おかやま信金	79	8.63%
4	備前日生信金	71	7.76%
5	笠岡信組	37	4.04%
6	百十四	27	2.95%
7	広島	22	2.40%
8	商工中金	20	2.19%
	水島信金	20	2.19%
10	玉島信金	17	1.86%
合 計		915	100.00%

サービス

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	2,982	52.50%
2	トマト	632	11.13%
3	おかやま信金	457	8.05%
4	玉島信金	142	2.50%
5	百十四	123	2.17%
6	津山信金	97	1.71%
7	香川	96	1.69%
8	広島	92	1.62%
9	備前日生信金	84	1.48%
	水島信金	84	1.48%
合 計		5,680	100.00%

不動産

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	517	36.41%
2	おかやま信金	183	12.89%
3	トマト	153	10.77%
4	玉島信金	88	6.20%
5	香川	54	3.80%
6	百十四	49	3.45%
7	広島	48	3.38%
8	笠岡信組	43	3.03%
	水島信金	43	3.03%
10	伊予	25	1.76%
合 計		1,420	100.00%

※ 主要7業種以外に「その他」の業種で699社あり

3. 取引先の売上規模別：『10 億円以上』で県外地銀、メガが上位に

取引先の売上規模別の上位 10 位は表 3 の通り。取引先の売上規模別にみると、トップの「中国銀行」が 6 分類すべてで 4 割を超えるシェアを占めた。とりわけ、『50 億円以上』でシェア 53.15%（194 社）、『5000 万円～1 億円未満』で 47.53%（2044 社）、『10 億円～50 億円未満』で 47.47%（591 社）、『5000 万円未満』で 46.68%（4449 社）と高かった。

『5000 万円未満』『5000 万円～1 億円未満』では「おかやま信用金庫」が 2 位に、『1 億円～5 億円未満』『5 億円～10 億円未満』『10 億円～50 億円未満』では「トマト銀行」が 2 位となった。

『10 億円～50 億円未満』では、「広島銀行」が 3 位、「百十四銀行」が 4 位、「伊予銀行」が 6 位となった。『50 億円以上』では、「広島銀行」「三菱UFJ 銀行」がそれぞれ 2 位、「三井住友銀行」が 4 位、「百十四銀行」が 6 位、「みずほ銀行」が 7 位となるなど、県外の地方銀行やメガバンクが多数ランクインした。

■表 3：取引先の売上規模別 シェア上位の金融機関

5000万円未満

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	4,449	46.68%
2	おかやま信金	1,132	11.88%
3	トマト	1,084	11.37%
4	玉島信金	334	3.50%
5	備前日生信金	249	2.61%
6	水島信金	248	2.60%
7	笠岡信組	195	2.05%
8	津山信金	191	2.00%
9	百十四	172	1.80%
10	広島	168	1.76%
合 計		9,530	100.00%

5000万円～1億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	2,044	47.53%
2	おかやま信金	501	11.65%
3	トマト	485	11.28%
4	玉島信金	155	3.60%
5	水島信金	147	3.42%
6	百十四	106	2.47%
7	広島	102	2.37%
8	備前日生信金	99	2.30%
9	笠岡信組	87	2.02%
10	香川	86	2.00%
合 計		4,300	100.00%

1億円～5億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	3,118	45.34%
2	トマト	865	12.58%
3	おかやま信金	670	9.74%
4	玉島信金	268	3.90%
5	百十四	212	3.08%
6	水島信金	200	2.91%
7	広島	191	2.78%
8	香川	179	2.60%
9	笠岡信組	160	2.33%
10	備前日生信金	153	2.22%
合 計		6,877	100.00%

5億円～10億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	573	44.91%
2	トマト	134	10.50%
3	おかやま信金	116	9.09%
4	広島	51	4.00%
5	百十四	48	3.76%
6	香川	39	3.06%
7	玉島信金	37	2.90%
8	水島信金	30	2.35%
9	笠岡信組	29	2.27%
10	山陰合同	27	2.12%
合 計		1,276	100.00%

10億円～50億円未満

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	591	47.47%
2	トマト	120	9.64%
3	広島	62	4.98%
4	百十四	57	4.58%
5	おかやま信金	55	4.42%
6	伊予	40	3.21%
7	香川	34	2.73%
8	三菱UFJ	31	2.49%
9	山陰合同	30	2.41%
	みずほ	30	2.41%
合 計		1,245	100.00%

50億円以上

順位	金融機関名	社数	シェア
1	中国	194	53.15%
2	広島	19	5.21%
	三菱UFJ	19	5.21%
4	三井住友	16	4.38%
5	トマト	15	4.11%
6	百十四	14	3.84%
7	みずほ	9	2.47%
8	商工中金	8	2.19%
	香川	5	1.37%
9	伊予	5	1.37%
	鳥取	5	1.37%
合 計		365	100.00%

※売上高の登録のない企業を除く

【問い合わせ先】 株式会社帝国データバンク 岡山支店 担当：内野
TEL 086-224-4681 FAX 086-223-1719

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。
著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。